

2011 年度入学試験 (2011 年 2 月実施)

立命館大学大学院博士課程前期課程

経営学研究科 企業経営専攻 入学試験

《一般入学試験》

《外国人留学生入学試験》

論 述 試 験 問 題

試験時間	解答数	持込許可物件
11:15~12:15 (60分)	問題1~問題6の中から <u>1問</u> を選択して解答すること	なし

受験にあたっての注意

1. 配布された答案用紙に受験番号・氏名を記入してください。
2. 途中での退室はできません。
3. 携帯電話・PHS・ポケットベル・等は時計として使用できません。アラーム機能を解除した上で、必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。指示に従わない場合は不正行為とみなします。
4. 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆、シャープペンシル、ボールペン、万年筆、消しゴム、鉛筆削り、時計以外のものを置かないでください。それ以外のものはカバンなどに入れ机の下に置いてください。下敷、定規類、そろばん、計算機能・翻訳機能のついている時計、耳栓などの使用は認めません。
5. 問題用紙・下書用紙も、試験終了後に回収します。

以下の経営学・会計学・経済学分野の問題 1～6 のうち、1 つを選択して日本語で解答しなさい。
解答用紙は所定の用紙を使用し、選択した問題番号を明記の上、解答しなさい。

【経営学分野】

問題 1 ハメル(Hamel, G.)とブラハラード(Prahalad, C. K.)が論じた『コア・コンピタンス経営(The Core Competence of the Corporation)』とは何か、ポジショニング・アプローチ(Positioning Approach)と対比しながら論じなさい。

問題 2 企業はなぜ多国籍化するののかについて、ダニング(Dunning, J. H.)の「国際的生産に関する折衷理論」をふまえて論じなさい。

【会計学分野】

問題 3 会計における資産とは何かについて、その定義、具体例、区分表示および測定に触れながら論じなさい。

問題 4 ディスクロージャーとは何かについて、今日の日本における 2 つの主要な法体系のもとに設けられている制度に言及しつつ論じなさい。

【経済学分野】

問題 5 以下の経済学の専門用語について、具体例を添えながら内容を解説しなさい。

- ①機会費用
- ②サンクコスト
- ③逆選択
- ④モラル・ハザード

問題 6 以下のような需要曲線、供給曲線が与えられたとする。 x^D を需要量、 x^S を供給量、 p を価格として、以下の設問に答えなさい。

$$\text{需要曲線: } x^D = -\frac{1}{2}p + 18$$

$$\text{供給曲線: } x^S = p - 3$$

- (1) 均衡価格 p^* 、均衡取引量 x^* を求めなさい。
- (2) このときの消費者余剰、生産者余剰、総余剰を求めなさい。
- (3) 政府により価格が均衡価格よりも 2 だけ低い水準に規制されたとする。もし政府による埋め合わせが全くなされないとすると、この場合の死荷重(社会的余剰の損失)はいくらになるか求めなさい。
- (4) (3) とは異なり、政府が生産者に対して 1 単位あたり 3 の従量税を課したとする。このとき、生産者と消費者それぞれの租税負担の大きさはいくらになるか求めなさい。